

令和6年度 国有林野等所在市町村長有志協議会
(中通りブロック)

森林管理(支)署の取組事項

令和6年10月23日(水)



福島森林管理署
福島森林管理署白河支署
棚倉森林管理署



令和6年度の重点取組

1 東日本大震災からの復興・創生への貢献

東日本大震災により被災した森林の復旧・林業の再生に向けて、森林や路網の整備、海岸防災林の復旧を進めるとともに、旧避難指示区域内における環境放射線のモニタリングや、林内の放射性物質濃度の調査を行います。



林業専用道の新設



松川浦海岸防災林の造成



立木の放射性物質濃度調査

2 「新しい林業」に向けた取組の展開

(1) 森林整備の計画的な推進

- ・ 利用期を迎えた高齢級の人工林資源を有効活用すると同時に、計画的な再造林を推進します。
- ・ 再造林にあたっては、花粉症対策苗木の植栽を進めるとともに、スギ以外の樹種への転換を進めます。



グラップルによる地拵



列状間伐後の森林空撮

(2) 林業の低コスト化・省力化

- ・ 一貫作業システムの推進など、事業の発注方法を見直します。
- ・ 初期成長に優れた特定苗の植栽や列状間伐の徹底、植栽本数の削減、下刈りの省力化など、林業の低コスト化・省力化に向けた技術を積極的に導入します。



コンテナ苗



下刈り省力化見学会

3 公益的機能の一層の発揮

(1) 野生鳥獣被害対策の強化

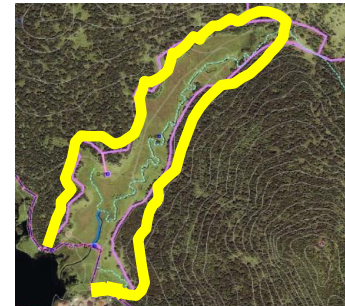
- ・ニホンジカの分布域を把握するため、国有林内各所でモニタリングを行います。
- ・ニホンジカによる食害を防ぐため、防鹿柵の設置や食害防止テープ、忌避剤散布等を行います。
- ・地元の猟友会等の協力も得て、くくりワナによる捕獲にも取り組みます。
- ・ツキノワグマによる剥皮被害発生箇所では、樹幹に剥皮防止資材（ウィリー）を巻きます。



センサーカメラに写ったニホンジカ



捕獲されたニホンジカ



大江湿原での防鹿柵設置



忌避剤散布

(2) 森林病虫害対策（ナラ枯れ）

- ・近年急速に拡大しているナラ枯れ被害に対し、福島県及び管内市町村等と連携し被害状況の共有や防除対策に取り組みます。



ナラ枯れで変色した広葉樹



カシノナガキクイムシの駆除（おとり丸太法）

(3) 国土強靱化に向けた取組

- ・集中豪雨・台風・地震等により発生した荒廃溪流や崩壊地等の復旧整備を推進するとともに山地災害の未然防止を図る予防対策を推進します。
- ・コンクリート構造物を設置する際の型枠は、間伐材を使った丸太等を使用するなど、再生可能な資源である木材をできるだけ利用し、資源の循環利用に努めています。



予防治山工事（山腹工）



丸太残存型枠を用いた谷止工

4 木材の安定供給

(1) 国有林材供給における対応

- ・ 令和6年度の収穫量は、54万 m^3 の予定。
- ・ 関東森林管理局に業界関係者や有識者等を委員とする「国有林材供給調整検討委員会」を設置し、地域の木材価格や需要動向の把握に努め、必要に応じて供給調整を実施します。

(2) 民有林との連携強化

民有林と連携した林産物の供給や、効率的な森林整備に取り組みます。

《期待される効果》

短尺材や低質材など小ロットでは販路の乏しかった木材の販売が可能になり、民有林の間伐等、森林整備の促進につながります。

連携

- ・ 森林所有者
- ・ 素材生産事業者
- ・ 国有林



【システム販売】
協定締結による安定供給
(大ロット化／流通コスト低減)



出荷される丸太



大口木材需要者
(製材工場、バイオマス発電所等)

5 市町村等への技術支援

(1) 現地検討会の開催

国有林で先駆的に取り組んでいる様々な施業方法等が民有林にも普及するよう、「意欲と能力のある林業経営者」をはじめ、広く関係者に参加を働きかけ現地検討会を開催します。



忌避剤散布勉強会



ドローンの活用に係る現地検討会

(2) 人材育成支援

県や大学と協定を結び、森林・林業分野の人材育成や、調査研究について協力、貢献を進めます。



コンテナ苗植栽実習



保育間伐実習

6 「国民の森林」としての管理経営

新たな山村価値の創造や森林環境教育などの活動の場を提供するとともに、地域との情報共有や意見交換等を通じて「国民の森林」としての管理経営を行います。



県立高校教員初任者の社会体験研修の場としての国有林の活用



会津地区有志協議会

県や大学と協定を結び、森林・林業分野の人材育成や、調査研究について協力、貢献を進めています。

【① 福島大学食農学類と福島森林管理署との連携及び協力に関する協定】

(令和2年12月15日締結)

協定に基づき、大学からの要望に応じて国有林内の事業実施箇所の見学や、実習に協力するとともに、福島署が行うシカ捕獲等の業務について指導や助言を得るなどの連携を図っています。

令和6年度も引き続き相互に連携・協力することとしています。



コンテナ苗植栽実習（田村市早稲川国有林）

【② 林業の人材育成に向けた福島県と福島森林管理署との連携及び協力に関する協定】

(令和3年3月26日締結)

協定に基づき、福島県が開講した「林業アカデミーふくしま」が実施する実技研修等の実習フィールドとして、福島署管内の国有林を提供するほか、アカデミーの運営会議にも参加しています。

<令和6年度に福島署管内の国有林で予定される実習>

- ・森林・林業の基礎、樹木調査、森林保護（病虫害・獣害対策）
- ・造林（下刈り、除伐、つる切り、間伐）



保育間伐実習（郡山市妙見山国有林）

福島森林管理署の取組

【① 誘引捕獲によるニホンジカ捕獲の検証と実践】（福島署）

令和5年度は郡山市の国有林で、福島県猟友会と連携しつつ福島大学准教授の技術的指導を仰ぎ、誘引捕獲により実施しましたが捕獲に至りませんでした。

令和6年度については、前年度の経験を踏まえて、福島大学から技術的指導を仰ぎ、誘引捕獲の手法を検証し、ブラッシュアップを図るとともに福島県猟友会と連携して捕獲を推進していくこととしています。

【② ニホンジカ生息状況調査】（福島署、白河支署、会津署、南会津支署、磐城署、棚倉署）

令和6年度も各森林管理署等でセンサーカメラによるニホンジカの生息状況調査を予定しています。

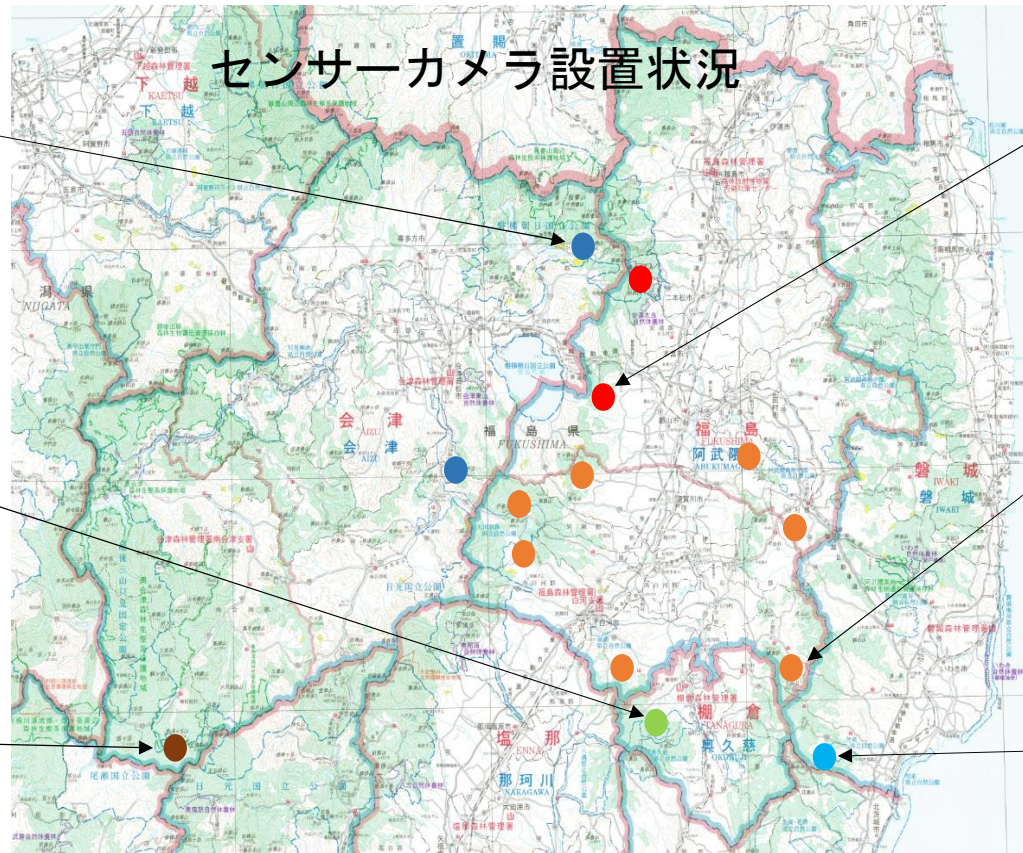
● 会津署（猪苗代町）



● 棚倉署（棚倉町）



● 南会津支署（檜枝岐）



● 福島署（郡山市）



● 白河支署（古殿町）



● 磐城署（いわき市）



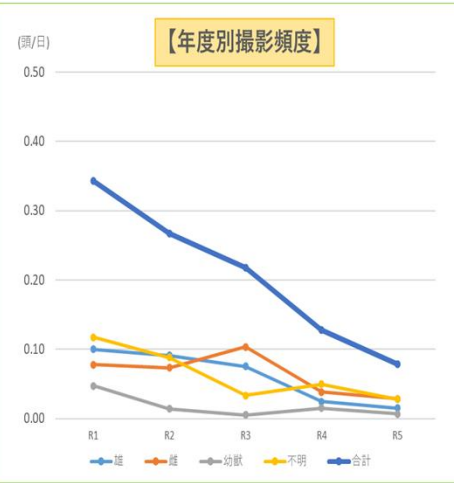
白河支署の取組

【ニホンジカ誘引事業】

白河支署管内では、まだ深刻な林業被害は確認されていないものの、一部地域においては食害が見られており、近年被害状況が周辺地域へ拡大しつつあるため、令和元年度から職員実行によりセンサーカメラを設置し、生息状況を調べております。今回、令和元年度～令和5年度（11月まで）のセンサーカメラの結果を取りまとめましたが、結果は減少傾向となりました。しかし、カメラの設置やカウント方法などに改善が必要と考えられるところもあり、今後も正確性の向上を検討し継続することとしております。また、令和6年度は、鉾塩等による誘引試験も行っております。

【年度別地域別撮影頭数及び個体識別撮影頻度】

年度	地域	管内	カメラ台数	撮影日数	撮影頭数					計	撮影頻度指数(頭/日)				
					雄	雌	不明	幼獣	年齢性別不明		雄	雌	幼獣	不明	全体
R1	天栄村	大平	5	731	74	67	17	46	87	291	0.10	0.08	0.05	0.12	0.34
		西郷村	4	1351	151	109	26	61	134	481					
	白河市	表郷	1	174	1	0	1	0	0	2					
	古殿町	横川	1	1	0	0	0	0	0	0					
R2	天栄村	大平	5	863	74	68	10	16	82	250	0.09	0.07	0.01	0.09	0.27
		西郷村	4	1097	124	98	10	16	97	345					
	白河市	表郷	1	1	0	0	0	0	0	0					
	古殿町	横川	3	60	8	0	0	0	0	8					
R3	天栄村	大平	4	451	17	41	10	2	11	81	0.08	0.10	0.01	0.03	0.22
		西郷村	4	1095	133	170	23	10	28	364					
	白河市	表郷	2	195	20	23	4	0	0	47					
	古殿町	横川	1	1	0	0	0	0	0	0					
R4	天栄村	大平	3	204	17	4	0	1	25	47	0.02	0.04	0.02	0.05	0.13
		西郷村	3	943	36	83	81	33	6	239					
	白河市	表郷	2	333	2	0	0	0	0	2					
	古殿町	横川	1	1	0	0	0	0	0	0					
R5	天栄村	大平	4	202	18	15	0	1	49	83	0.02	0.03	0.01	0.03	0.08
		西郷村	3	178	14	49	0	15	14	92					
	白河市	表郷	2	178	2	0	0	0	0	2					
	古殿町	横川	3	200	0	0	0	0	0	0					



【取りまとめ方法】

- ニホンジカが撮影されなかった地区は集計から除外。
- 同時刻帯に撮影された写真は同一の個体であると判断し重複しないよう集計。
- 角の有無、体格、毛並みの模様等により雄雌、成獣幼獣を識別し、判断できないものについては不明とし集計。

【データ解析】

- 雄雌ともに同程度の撮影頻度であるが、成獣に比べ幼獣の撮影頻度は低い。
- 撮影頻度から他の地域に比べ西郷村には雌の個体の撮影頻度が高い。
- 撮影頻度は年々減少しているが撮影日数や画像データ解析時の視差が影響しているものと推測。
- ニホンジカの増加・地域拡大は認められない。



鉾塩を舐めているシカ



鉾塩を見ているシカ

【誘引結果】

- 同じ個体が何度も撮影されていることから、鉾塩による誘引効果はあると考えられる。
- ヘイキューブも同時に設置したが、こちらについては効果は分からなかった。

【考察】

- 誘引効果は確認出来たことから、今後も継続して調査したい。
- 鉾塩とヘイキューブを別々に設置して、それぞれの誘引効果も確認したい。
- ある程度誘引頭数が確保出来たら、罠による捕獲も検討する。

白河支署の取組

【ナラ枯れ防除事業】

福島県では近年急速にナラ枯れ被害が拡大している状況にあり、福島県及び管内市町村等の関係自治体と連携し、被害状況の情報共有や被害対策等に取り組む防除体制の構築、ナラ枯れ被害対策に取り組みます。

令和6年度は、「かしながホイホイ」を設置し、8月にカシノナガキクイムシの捕獲状況を確認しました。

【カシノナガキクイムシによる被害状況】

当支署管内においては古殿町で平成30年度に被害が確認されました。点的な被害であったことから経過観察していましたが、近年被害が拡大傾向にあることが確認されたため、令和4、5年度に一部地域において立木くん蒸による被害木処理を実施しました。令和6年度については、試験的に「かしながホイホイ」を設置し、カシノナガキクイムシの捕獲状況を確認しました。

R 4	古殿町三株国有林	作業面積 3.89 ha	材積 302.83 m ³	404 本
R 5	古殿町ヲテマ国有林	作業面積 5.28 ha	材積 158.69 m ³	374 本

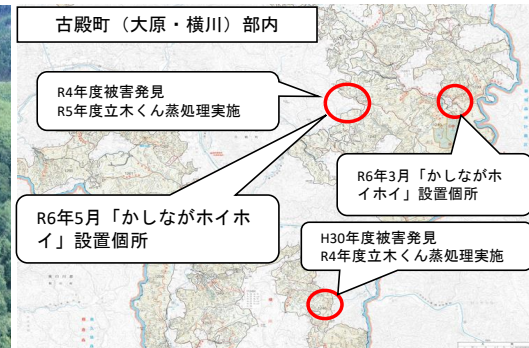


職員による「かしながホイホイ」の試験的な設置状況

R 6.3	古殿町古殿町ヲテマ国有林	1239れ2林小班 (5本)
R 6.5	古殿町古殿町ヲテマ国有林	1242へ2林小班 (4本)



R 6.8 職員による「かしながホイホイ」の回収及び捕獲数の確認状況



紅葉ではなく被害により枯れかかっている状況

【試験結果】

- ・カシノナガキクイムシ 全捕獲数、約7,305匹
- ・周辺にカシナガの被害が多く発生した「1242へ2林小班」においては多く捕獲できた。
- ・縦巻・横巻については縦巻の方が設置しやすいが、捕獲数については差がなかった。
- ・径級及びせん孔数に対する捕獲数を検証したが、差はなかった。
- ・方角による捕獲数を検証したが、差はなかった。

【考察】

- ・試験木が少なく正確な検証には至らなかったが、伐採集積が伴う伐倒くん蒸や薬剤により立枯らしとなる立木くん蒸に馴染まない箇所での被害蔓延防止対策として効果が期待されることから、今後も使用方法や効率的な設置の仕方など検討していきたい。

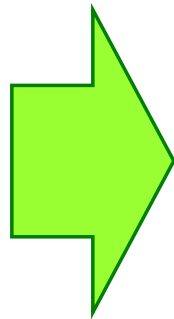
白河支署の取組

【令和6年度戸倉山復旧治山工事】

福島県岩瀬郡天栄村西部に位置し、平成22年9月より度重なる震災により発生した災害現場です。全体的に急傾斜かつ高所での施工を行っており、拡大崩壊及び表面侵食等防止するため、斜面の安定と早急な植生導入を行い、森林機能の回復を目指しています。施工は、平成23年から行っており、令和9年度の完成を目指しています。令和6年度は吹付法砕工を実施しています。








法面崩落災害（戸倉山）
（平成23年7月）



現在の様子
（令和6年10月11日撮影）



今後の事業予定

-  : 現場吹付法砕工（砕内モルタル）【令和6年度予定】
-  : 植生マット+丸太筋工【令和7～9年度予定】
-  : 植生マット【令和7～9年度予定】
-  : 大型かご砕工【令和8～9年度予定】
-  : 排土工外【令和6～9年度予定】

【防草シートを活用した下刈の省力化】

《下刈りにまつわる課題》

主伐の増加に伴い造林（下刈）面積が増加する一方、林業事業者では労働力の確保に苦慮している状況です。特に、夏期を主として行われる下刈り作業は労働負荷が大きく、新規採用された若者の多くが下刈り作業に耐えられず、離職してしまう傾向にあります。

《課題克服に向けた取組》

棚倉署は、こうした課題を克服するため、防草シートの活用による下刈りの省力化、労働負荷の低減を模索することとし、令和4年度から特定母樹及びコンテナ苗の植栽地において、防草シートの敷設による下草繁茂抑制効果等の検証現地見学会の開催による地域の林業関係者との情報交換を行っています。また、令和5年度は、関東森林管理局森林・林業技術等交流会において、「防草シートを活用した下刈の省略化に向けた取組」というテーマで、これまでの生育状況について、経過報告しています（URL:https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/soumu/attach/pdf/kanto_presentation-1.pdf）。

（検証内容）

①下草の繁茂抑制確認、②苗木の生長の比較、③防草シートの耐久性確認、④コスト比較

令和6年度も引き続き効果の検証等を行い、その検証結果を踏まえ、活用を検討することとしています。



下刈省略化見学会 塙町入山国有林

防草シート設置作業

棚倉森林管理署の取組

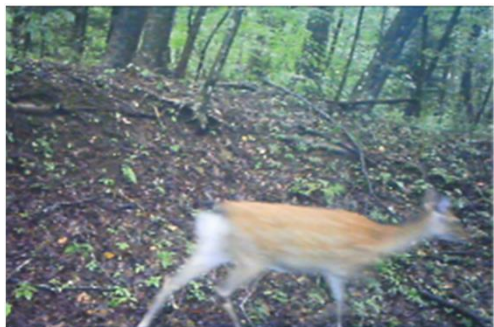
【八溝山周辺地域におけるニホンジカ対策】

棚倉署は、八溝山周辺の国有林を管轄する森林管理署等（塩那署、茨城署ほか）とともに、令和元年に「八溝山周辺国有林ニホンジカ対策協議会」を設立し、生息状況等の情報共有を行っています。

令和2年には、当署管内で初めて造林木へのシカによる食害が確認されたことから、7月に（国研）森林総合研究所をはじめとする関係機関による現地調査を実施しました。現地調査において、関係機関からは、被害の状況からシカの低密度地域での被害であり、現時点では、忌避剤散布による防除が効率的との意見を踏まえ対策を実施しています。

令和5年度は、棚倉署において鉋塩等による捕獲事業を実施したところ、オスジカ1頭を捕獲し、さらに八溝山周辺関係県で構成する「福島茨城栃木連携捕獲協議会」による捕獲事業を実施したところ、ニホンジカ5頭（オス2頭、メス3頭）を捕獲しました。また、当署管内におけるニホンジカ対策についての成果と状況について、関係機関等との情報共有を図るためニホンジカ対策勉強会を開催しました。

令和6年度も捕獲事業等を実施しており、捕獲事業等の結果をもとに低密度生息地域における捕獲手法等の検討を行います。また得られた情報を関係機関と共有して、地域と連携したニホンジカ対策を推進します。



管内で初めて確認されたニホンジカ（平成30年）



食害地現地調査（令和2年7月14日）



管内で初めて確認されたシカによる造林木のはく皮食害



関係機関の意見を踏まえた忌避剤散布（令和5年11月）



オスジカを捕獲（令和5年10月）

令和6年度中通りブロック国有林の主要事業量

令和6年4月1日現在

森林管理署等	市町村名	収穫量 (m ³) ※立木材積			素材生産量 (m ³)	造林 (ha)			林業専用道 新設 (m)	治山事業									
		主伐	間伐	計		植付	下刈	保育 間伐		渓間工 (m ³)	箇所	山腹工 (ha)	箇所	保安林整 備 (ha)	箇所	海岸防災林事業			
																(ha)	箇所	(m)	箇所
福島	福島市	1,991	10,500	12,491			3		266	1									
	郡山市	2,187	14,355	16,542	4,610	20	61		177	1	80m	1							
	二本松市	6,962	306	7,268			2												
	田村市	16,365	26,423	42,788	8,175	45	100												
	伊達市		1,141	1,141															
	桑折町																		
	川俣町		779	779															
	大玉村	999	5,951	6,950		15	12												
	小野町	2,862	4,318	7,180	2,715			4											
計	31,366	63,773	95,139	15,500	80	179		443	2		1								
白河支署	白河市	1,310	6,946	8,256	3,420	19	70	40	220			0	1						
	須賀川市					9	22												
	天栄村	2,990	5,209	8,199	4,810		5	19				0	1						
	西郷村		2,661	2,661	1,770	5	15	8											
	玉川村	1,485		1,485		1	4												
	平田村	9,139		9,139		15	55												
	古殿町	30,657	28,597	59,254	23,000	74	279	137											
	計	45,581	43,413	88,994	33,000	123	451	204	220			0	2						
棚倉	棚倉町	72,855	7,054	79,909	16,870	27	120												
	矢祭町	15,499	1,799	17,298	1,375	5	31												
	塙町	43,278	13,617	56,895	35,365	58	162	3	37t(調製自在枠)		1								
	鮫川村	3,374	7,829	11,203	6,390	32	100												
	計	135,006	30,299	165,305	60,000	122	413				1								
合計	211,953	137,485	349,438	108,500	325	1,043	204	220	443	3	0	3							

注) 事業量には令和5年度補正・繰越し分を含む。

伐採量には、分収育林、分収造林、官公造林地の伐採量を含む。

表中の0は四捨五入により1に満たない事業量を示す。

保育間伐には治山費の本数調整伐を含む。

国有林に関する問い合わせ先



福島森林管理署	<p>960-8055 福島県福島市野田町7丁目10-4 電話 024(535)0121(代表) E-mail:ks_fukushima_postmaster@maff.go.jp</p> <p>管轄区域： 福島市・郡山市・二本松市・田村市・伊達市・伊達郡桑折町・川俣町・安達郡大玉村・田村郡小野町</p>		
福島森林管理署 白河支署	<p>961-0074 福島県白河市郭内128-1 電話 0248(23)3135(代表) E-mail:ks_shirakawa_postmaster@maff.go.jp</p> <p>管轄区域： 白河市・須賀川市・岩瀬郡鏡石町・天栄村・西白河郡西郷村・泉崎村・中島村・矢吹町・石川郡石川町・玉川村 平田村・浅川町・古殿町</p>		
棚倉森林管理署	<p>963-6131 福島県東白川郡棚倉町棚倉大字棚倉館ヶ丘73-2 電話 0247(33)3111(代表) E-mail:ks_tanagura_postmaster@maff.go.jp</p> <p>管轄区域： 東白川郡棚倉町・矢祭町・埴町・鮫川村</p>		
森林放射性物質 汚染対策センター	<table border="0"><tr><td data-bbox="533 1265 952 1390"><p>(福島森林管理署駐在) 960-8055 福島県福島市野田町7丁目10-4 電話 024(536)6556(代表) E-mail:ks_osentaisaku_postmaster@maff.go.jp</p></td><td data-bbox="1059 1265 1456 1364"><p>(磐城森林管理署駐在) 979-0201 福島県いわき市四倉町字東2-170-1 電話(IP) 050(3160)1635</p></td></tr></table>	<p>(福島森林管理署駐在) 960-8055 福島県福島市野田町7丁目10-4 電話 024(536)6556(代表) E-mail:ks_osentaisaku_postmaster@maff.go.jp</p>	<p>(磐城森林管理署駐在) 979-0201 福島県いわき市四倉町字東2-170-1 電話(IP) 050(3160)1635</p>
<p>(福島森林管理署駐在) 960-8055 福島県福島市野田町7丁目10-4 電話 024(536)6556(代表) E-mail:ks_osentaisaku_postmaster@maff.go.jp</p>	<p>(磐城森林管理署駐在) 979-0201 福島県いわき市四倉町字東2-170-1 電話(IP) 050(3160)1635</p>		